



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2509 号 2015.6.24 発行

【日本の議論】風俗業者阻止の犠牲？ 「混浴禁止条例」に阻まれた障害者のヨクジョウ問題

産経新聞 2015年6月24日  
障害者が使いやすいよう配慮した家族風呂の説明をする御谷湯のオーナーの伊藤林さん=東京都墨田区



東京都墨田区石原の公衆浴場「御谷湯（みこくゆ）」が、大浴場のほかに8日から新たに身体障害者を対象にした家族風呂の運営を始めたところ、思わぬ問題が浮上した。公衆浴場に関する区条例で、夫婦、親子でもどちらかが10歳以上の場合は男女の混浴ができない。介助者が異性の場合は着衣が求められ、障害者にとって、家族水入らずの入浴が楽しめないという。（昌林龍一、写真も）

「御谷湯」は、福祉活動に力を入れる伊藤林（しげる）さん（68）がオーナー。ビルの4、5階に男女別の大浴場があり、今春の改装で1階に身体障害者とその家族を対象にした家族風呂を設置した。

入浴しやすいように浴槽の縁が低く、中にはスライド式の足腰掛け板がある。介助する人も汗をかくだろうと考えて、浴槽は2つ配置した。

区生活衛生課によると、家族風呂はスポーツジムのジャグジーなどと同じ扱いになる区公衆浴場条例の「その他公衆浴場」で許可。同条例では、「10歳以上の男女を混浴させないこと」と定め、夫婦、親子でも10歳以上の男女は混浴はできないことになっている。このため、介助者が障害者と異性の場合は、着衣のまま介助作業をしなければならないという。

伊藤さんは、福祉目的の場合は混浴を許可してもらおうよう条例改正の要望を打診したが、同課は「福祉目的と偽って許可を取り、風俗などに使う悪質な業者も出てくる可能性がある」との見解で、実現は困難。

福祉施設に準ずるものとして公衆浴場条例の適用外にする方法もあるが、区障害福祉課は、「デイ・ケアセンター扱いにするのであれば必要条件が厳しくなり現在の設備では難しい。たとえ認められても、混浴できるとするならばデイ・ケアセンターに通所する人に限られる」といい、さらにハードルは高くなる。

1組90分利用で、入浴者1500円、入浴しなければ介助者は無料という料金設定だが、開業から間もないこともあって10日現在利用はまだない。伊藤さんは「入浴者には障害者手帳を提示してもらい、利用者の範囲を限定しているので、いずれは夫婦や親子の混浴を許可してくれる方向に向かってくれればいいのだが」と期待している。

伊藤さんは福祉活動の一環として、今回の改装に併せ、家族風呂のほかにビル2階に精神障害者などに風呂掃除などの仕事の研修を行う福祉施設「就労移行支援B型事業所」も作った。

■公衆浴場 公衆浴場法では、銭湯を指す「普通公衆浴場」とサウナなど「その他公衆浴場」に分けられる。厚生労働省が衛生等管理要領で「おおむね10歳以上の男女を混浴

させない」としているため、各自治体は条例で公衆浴場での混浴を禁じている。

#### 下関の障害者暴行事件、別の支援員を書類送検

朝日新聞 2015年6月24日

知的障害者らが利用する山口県下関市の指定障害福祉サービス事業所「大藤園」の元支援員が、利用者を暴行したとして逮捕された事件で、山口県警は24日、別の支援員の男（55）を暴行容疑で山口地検下関支部に書類送検したと発表した。県警によると、男は容疑を認めているという。

発表によると、男は昨年1月27、28両日、園の訓練作業室で利用者の男性（当時40）の頭をシールの束でたたきなどした疑いがある。調べに対し、「利用者とコミュニケーションを取ったり、励ましたりするつもりでたたいた」と話しているという。

#### 法律相談 実情に沿って

読売新聞 2015年06月24日

◇徳島弁護士会 市町村の福祉担当者から受け付け

増加する高齢者や障害者の法律問題にきめ細かな対応をしようと、徳島弁護士会は7月から、市町村の福祉担当職員から法律相談を無料で受け付ける事業を始める。同弁護士会によると、高齢者や障害者を対象とした電話での無料法律相談を実施しているケースはあるが、自治体職員からの相談を受け付ける取り組みは全国的にも珍しいといい、担当者は「福祉の実情を知る自治体職員と連携し、より多くの人を法的にサポートしたい」と話している。（荻谷俊岐）

同弁護士会ではこれまでも高齢者らの法律相談を受け付けていたが、普段から高齢者らと接する機会が多い自治体職員らから専門的な相談を受け付けることで、より地域の実情に合ったアドバイスができると判断した。

県内全24市町村に担当弁護士を割り当て、日常的に電話などで相談を受け付け。年に3回程度は市町村を訪問し、職員から直接相談に応じる。弁護士への報酬は、弁護士会が全額負担。高齢者らの相談にも担当弁護士が応じ、必要に応じた相談窓口を紹介する。

今年度末まで実施し、成果を検証。来年度以降も続ける予定で、料金や事業内容は自治体と協議をして決める。同弁護士会の高齢者・障害者支援センター運営委員長の瀧誠司弁護士は「職員や高齢者らが気軽に法律相談を受けてもらえるきっかけになれば」と話している。

#### 福祉専門家：「学校に必要な職員」中教審、中間まとめ案 毎日新聞 2015年06月24日

いじめや不登校など複雑・多様化する学校の課題への支援体制を検討している中央教育審議会の部会は24日、福祉の専門家のスクールソーシャルワーカー（SSW）を「学校に必要な職員」と法令で位置づけることなどを盛り込んだ中間まとめ案を示した。文部科学省は来年の通常国会で学校教育法など関連法の改正を目指す。配置されるSSWの拡充やこれに伴って教員の多忙解消につながることも期待されている。

川崎市の中学1年、上村遼太さんが殺害された事件では、学校側がSSWを活用しなかったことが問題視された。SSWの法的な立場がはっきりせず、学校現場で認知度が低かったことが原因とも言われている。

SSWは社会福祉士などの資格を持つ福祉の専門家。いじめや不登校の背景に、家庭環境や発達障害などの課題が指摘されることが少なくなく、専門家の支援が不可欠になっている。文科省は2008年度にSSW配置の補助事業を始め、13年度は1008人が配置された。

しかし、SSWへの理解不足などから、学校で適切に活用されていないケースも少なくない。川崎市の事件では、被害者が不登校になって以降、担任教諭が電話や家庭訪問で接

触を試みていたのに、SSWに支援を要請しなかった。

中間まとめ案は「教員が持つ専門性だけでは対応に苦慮している」として、SSWを法令上「学校に必要な職員」として位置づける必要があると判断した。どの学校でも日常的に相談できるように、一層の拡充を検討することも求めた。

また、教員に加え部活動支援員、SSWや心理の専門家であるスクールカウンセラー（SC）など学校に関わる幅広い人たちが、いわば「チーム学校」となって諸問題に対応する必要性も指摘。SCについてもSSW同様に法令上「学校に必要な職員」に位置づけることを求めた。【三木陽介】

【ことば】スクールソーシャルワーカー

福祉の観点から、いじめや不登校、児童虐待などの課題に対し、学校、児童相談所、警察などと連携しながら解決策を探る専門家。国の補助金の実施要領は「原則として社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持つこと」としている。独自予算で配置している自治体もある。普段は教育委員会にいて学校からの要請に応じて活動する「派遣型」や、複数の学校を巡回する「巡回型」などの運用がされている。

## 介護職 10年後38万人不足 253万人必要、確保策が急務

中日新聞 2015年6月24日

団塊の世代が75歳以上になる2025年度に必要な全国の介護職員は253万人の見通しで、現状の増員ペースのままでは38万人不足する恐れがあることが、厚生労働省の推計で分かった。13年度時点では非常勤を含め171万人で、10年後までに80万人余りの増員が欠かせない計算だ。介護分野は離職率が高く、政府は人材確保に向けた対策を急ぐ。

必要な人数に対し、確保できる見込みの人数の割合（充足率）を都道府県別にみると、最も低いのは宮城県で69%しか埋まらず、1万4136人足りない。80%を切るのは関東の3県で群馬74%、埼玉77%、栃木78%。

中部9県では三重の90%が最も高い。ほかは80%台で愛知82%、岐阜82%、静岡87%、長野82%、滋賀86%、石川88%、富山82%、福井86%。

人数ベースでは、不足が最も多いのは東京都の3万5751人（充足率85%）、最少の島根県は326人（同98%）。

厚労省が都道府県を通じて調べた。今年2月の社会保障審議会部会に248万人が必要で33万人が不足するとの暫定推計値を示していたが、確定値では不足数が拡大した。市町村が15～17年度の介護保険事業計画を3月に策定したことを踏まえ、最新データで計算し直した。

推計では17年度には208万人の介護職員が必要となり、早くも12万人が足りなくなる。有効な人材確保策を打ち出せなければこの傾向は加速し、20年度は必要な226万人に対し20万人不足。このギャップが25年度に倍近い38万人となる。人材確保策として厚労省は、介護サービス事業者に支払われる介護報酬の15年度改定で職員賃金が平均月1万2千円上がるよう手当てしたほか、介護福祉士が離職した場合に各都道府県の福祉人材センターに届け出を求め再就職を促すことを盛り込んだ社会福祉法改正案を今国会に提出している。

**介護分野の人手不足** 2000年度の介護保険スタート時に55万人だった介護職員は現在までに約3倍増。だが高齢者が増える一方で「低賃金で体力的にもきつい仕事」とのイメージが定着し、慢性的な人手不足が続いている。厚生労働省によると、常勤の人で1年間に離職する割合は16.8%で全産業平均の12.4%を上回る。勤続年数が短いことも影響し、平均月給は約22万円と全産業平均より10万円ほど低い。

＜な～るほど介護＞ 介護タクシーの特徴を知って 中日新聞 2015年6月24日

足腰が弱り、通院に困るお年寄りが増えている。そこで助けになるのが介護タクシー。乗り降りなどを手助けする運転手があり、介護保険を使って通常運賃より安く利用できるが、使用にはさまざまな制約がある。保険を使えない介護タクシーも多いので注意が必要だ＝表参照。

### 「介護タクシー」の違い

	介護保険適用	非適用の福祉輸送事業限定
■利用できる人	要介護1～5	要支援、要介護、障害者ら
■行き先	原則、医療機関	自由
■料金の目安	運賃+約100円(介護保険自己負担分)。運賃は一般タクシーより格安に設定してある業者がほとんど。あんしんネット21では初乗り808円から	運賃(一般タクシーとほぼ同額)+介助料だが、業者によってメーター制と時間制がある。時間制なら最初の30分がおおむね3000～4000円(介助費込み)から
■利用方法	事前に介護計画書に盛り込む必要がある	多くが予約制

#### ◆制約多く、保険非適用の場合も

六月下旬、名古屋市内の民家。「いつものクリニックまでですわ」。タクシー会社「あんしんネット21」の運転手が玄関に入り、住人の男性(85)に優しく声を掛けた。

男性は右脚が悪く、歩く時などに介助が必要な「要介護2」。

運転手は男性がつまづいたりしないように並んで歩き、付き添いの妻(77)と二人を後部座席にいざなった。十五分後にかかりつけの診療所に到着すると、入り口の扉を開け、受け付けを済ませたのを確認してタクシーに戻った。

男性が介護タクシーを使うのは月一回の通院。バスでも所要時間は同じだが、バス停までの行き帰りが難しい。自動車運転免許は五年ほど前に自主返納。妻は「子どもに迷惑を掛けたくない。介護タクシーは本当にありがたい」と話す。

迎車料を含む運賃は八百九十八円。介護保険を使ったので、通常運賃より千円ほど安い。状態の悪い利用者は、自宅内からの介助や、ベッドから車いすへの乗せ換え、靴の脱着などの介助も受けられる。

介護タクシーは、介護保険のホームヘルプサービスのひとつで、タクシー会社は訪問介護事業所の指定を受けている。運転手はヘルパーの資格も取得済みだ。

あんしんネット21専務の田中英雄さん(60)によると、利用できるのは要介護1～5の人で、要支援や認定を受けていない人は使えない。行き先は原則医療機関のみ。介護に関する手続きのための役所などは認められるが、買い物や旅行は不可だ。

空車があっても一般のタクシーのように急に使えない。ケアプランに利用を盛り込み、ケアマネジャーを経由して申し込まなければならない。「五日ほど前にはケアマネジャーに連絡を」と田中さんは話す。

経済的で便利な介護タクシーだが、保険が使えないものが実際には多い。障害者らを対象に営業許可を得た福祉輸送事業限定タクシーで、料金は一般のタクシーとほぼ同額の運賃に介助料が必要。割高になるものの、要支援の人も介助を受けながら乗ることができ、行き先も自由。それぞれの特徴を知り、賢く使いたい。(諏訪慧)

#### コスタリカから研修生 障害者の自立支援学ぶ 西宮

神戸新聞 2015年6月24日

重度障害者の介助の様子を見守るルイス・カンプロネーロさんとアンドレス・リオスさん＝西宮市青木町

障害者自立生活センターの運営方法や重度障害者の介助法などを日本で学ぶため、中南米・コスタリカからルイス・



カンブローネーロさん（31）とアンドレス・リオスさん（24）がNPO法人「メインストリーム協会」（兵庫県西宮市西福町）を訪れ、研修を続けている。

同協会は障害者の自立支援をサポートする団体で、障害者約50人、介助者約200人のスタッフが在籍している。2012年4月から実施する「コスタリカ自立生活推進プロジェクト」の一環で2人を招いた。

## 繭玉形箸置き、パリの祭典に 岡谷の事業所で障害者ら製作



信濃毎日新聞 2015年6月24日

利用者が作った木製箸置き。ジャパンエキスポで配られる

長野県岡谷市の就労継続支援B型事業所・就労移行支援事業所「ソレイユ」の利用者が作った繭玉の形をした木製箸置き50個が、7月2～5日にフランス・パリで開かれる「第16回ジャパンエキスポ」で配られることになった。日本の食やアニメ、伝統文化などを宣伝する祭典。利用者は、自分たちが作った物の「世界進出」に喜んでいる。

事業所では2013年、岡谷らしい土産品を作ろうと、職員と利用者が話し合った。盛んだった製糸業にちなみ「蚕」を題材とし、桑の木を使ったすき紙や繭玉の形の箸置きを作り、販売を始めた。

箸置きは完成まで10日ほどかかる。職員が3センチ四方のマツの木片を削り、利用者が紙やすりで1日掛けて形を整える。アクリル絵の具で下塗りし、桜の花びらや桑の実を丁寧に描く。ニスで4回塗って仕上げる。

事業所には、知的障害者ら約20人が通う。サービス管理責任者の吉川恭子さん（48）は「お金を出して買いたいと思ってもらえるようなものづくりを心掛けている。エキスポで配られることが、利用者への理解や就労につながればいい」と話している。

箸置きは、祭典に初参加する渡辺製麺（茅野市）がカップ麺を販売する際、無料記念品として配る。

## 若年層のスマホトラブル懸案化 竹内准教授に聞く 大阪日日新聞 2015年6月24日



スマホの適切な使い方を提言する竹内准教授

スマートフォンの急速な普及に伴い、若年層の間で犯罪やいじめに巻き込まれるトラブルが懸案化している。このため、大阪府内では中高生が自らスマホトラブルの対策をまとめた「OSAKAスマホ宣言」を発表。必要のない情報は「見ざる」「聞かざる」「広めざる」と呼び掛けている。一方、周囲の大人たちも果たすべき役割はあるはず。若年層のスマホトラブルに詳しい兵庫県立大環境人間学部の竹内和雄准教授に聞いた。

－いじめの例は。

「小学6年の女子児童が、友達の持っている縫いぐるみを無料通信アプリ『LIEN（ライン）』を使って『かわいくない』とメッセージを送った。送った子は『かわいくない？』と肯定の意味のつもりでしたが、『？』マークを入れていなかったため、相手に誤解されてしまった。それをきっかけに相手からのいじめが始まった」

－保護者が心掛けることは。

「使用時間や料金、人の嫌がることを書かないといったルールを子どもと話し合うことが大切。これからは親がしつけの一環として、スマホの使い方を教える必要がある」

－教師はどう向き合うべきか。

「2年前に高校の研修で『最近、ラインのトラブルが多い』と話をしたところ、50代の体育の先生は、グラウンドに線を引くライン引きで殴り合いでもしたのかと勘違いをしていた。先生は子どもを取り巻く環境を知る必要がある」

－なぜ子どもはスマホに夢中なのか。

「女の子はラインをやめられない傾向にある。友達に付き合っ、途中でやめることができないという『つながり依存』だ。これは人間関係の不安定さが背景にある。男の子はスマホのゲームに夢中だ」

－全国のルールづくりは。

「愛知県刈谷市は子どもの夜間のスマホ使用時間を午後9時までとする独自ルールを決めた。兵庫県立姫路飾西高校の生徒は、オープンハイスクールで同校を訪れた中学生と、スマホの使用時間などについて議論した。午後9時までと午前0時まで意見は割れたが、最終的に午後9時までとし、寝る前10分は画面を見ていいとした。この緩和措置はよくできている」

－具体的には。

「子どもは大人が思いつかないような利用実態に合ったルールを考えることができる。それに、何かあったときは、子どもが互いに『あのときに決めたやろ』と言やすいこともメリットだ」

－使用年齢が低年齢化している。

「小学1～3年の所有率が伸びている。これは親が『携帯ネイティブ』世代になり、家庭に固定電話を置かず、両親がスマホを持っていることも一因だと思う。子どもは小学4年から塾や習い事を始めることが多いが、子どもとの連絡手段に持たせるという状況もある。これからの子どもは1人1台の方向に向かうと思う。だからこそ、社会全体でスマホの問題を考えないといけない。私たち大人が自分の問題として考えることが大切だ」

【OSAKAスマホ宣言】 大阪府が昨年12月に開いたOSAKAスマホサミットで発表。内容は4点。(1)「あと10分、気付けばそれは1時間」(気を付けてても知らぬ間に1時間が経過。気を付けないと使い過ぎになる)(2)「SNSの『いいね』より、リアル『いいね』をシェアしよう」(リアルでも『いいね』という言葉のコミュニケーションをシェアすることを心掛ける)(3)「見ざる、聞かざる、広めざる」(必要のない情報は見ないようにし、話も聞かないようにし、広めないようにする)(4)「ネットより、リアルの出会い、大切に」(ネット上の友人より、現実の友人を大切にする)

真心こもったメニュー人気 障害者の軽食店盛況 南あわじ 神戸新聞 2015年6月24日



手製のメニューを持ち寄り、来店を呼び掛けるスタッフら＝COWA

障害者らが手作り品を販売するテークアウト式の軽食店「COWA」が、兵庫県の南あわじ市役所新庁舎（同市市善光寺）1階ロビーで営業し、昼休み中の市職員や来庁者でにぎわっている。生地から作ったパンやサンドイッチ、トッピングと味付けが多彩な焼き菓子など、真心たっぷりのメニューが人気を呼ぶ。（佐藤健介）

知的や精神にハンディがある人らの社会参加に向け、今年4月6日の新庁舎開庁と同時にオープン。社会福祉法人「淡路島福祉会」（同市）が運営する障害者多機能型施設「ウインズ」のほか、就労継続支援事業所「コパンじとほ」や就労移行支援事業の訓練施設「コパンえんぎょうじ」から70～80種類ぐらいの商品を集めている。

店名の由来は、障害者と地域をつなぐ「心の輪」。込めた思いの通り、丁寧な手作業に引かれた客が続々と訪れ、まとめ買いをする人もいる。クリームパンやカレーパン、ミックスサンドイッチは食べ応え十分。クッキーにはナッツやゴマを練り込むなど調理法もバラエティーに富む。

卵を塗ったサブレや、キャラメル味でナッツをまぶしたフロランタンなどが売れ筋で、定期的に新作メニューも販売するという。

ウインズ施設長の藪脇久臣さん（41）は「市の中心部で障害者が活動できるのは良いこと。ハンディのある人とない人の交流、理解が進んでほしい」と期待している。

平日午前11時半～午後3時。ウインズTEL0799・43・2811

## ココロの中、色彩豊かに 自閉症の26歳・宮本さん、和歌山で個展

産経新聞 2015年6月24日

2歳の時に自閉症と診断された岩出市の宮本悠衣（ゆい）さん（26）の個展「ココロの柄」が紀の川市粉河で開かれている。言葉でのコミュニケーションが少ない分、色彩豊かな絵を通じて自身の世界を表現。展示作のほとんどはタイトルがないが、福祉作業所の仲間たちが宮本さんの描く世界を想像し、「くるくるくるくる回る回る夢の世界」など、ユーモアいっぱいの説明を書き加えた。「作品を見ていると、純粹ですてきな人柄が伝わってきます」。訪れた人たちの心をとらえている。今月27日まで。

宮本さんは障害者らが働く「ポングリ図画耕作所」（同市粉河）に週2日通って絵を描いている。作品展が開かれているのは、同耕作所近くの古民家を活用したカフェ「創-Hajime Cafe」。同耕作所が設立1周年を記念して企画し、宮本さんの個展は今回が初めてとなった。

会場には、クレヨンや色鉛筆、サインペンなどで色とりどりに描かれた絵や、折り紙で作ったちぎり絵など45点を展示。家族や動物、遊園地、食べ物など宮本さんの大好きな「宝物」が細部まで丁寧に描かれている。

「わたし…キレイ？」と記された作品は、6膳のカラフルな箸や人の顔が描かれている。耕作所スタッフの奥野麻美さん（31）は「悠衣ちゃんは6人家族なので、家族が集まることの幸せを描いたのでは」と思いをめぐらせた。

それぞれの作品には、「空が見る世界」などの説明が添えられているが、奥野さんは「悠衣ちゃんの中できっとタイトルはあるんだろうけど、教えてくれないからみんなで考えたんです」と笑顔を浮かべた。

幼い頃から絵を描くのが好きだった宮本さんは、以前からチラシや本のカバーの裏など、つるつるとした白い紙を見つけては絵を描いていたという。

絵の描き方も特徴的で、3枚ほどの紙を重ねて同時に取りかかる。まず、色を選ぶのにじっくり時間をかけ、その色でひと塗りすると、今度は次の紙に移ってまた色を選び始める。ペンで描いた線を上から指でなぞって色をぼかしたり、すでに色のついている折り紙の上からペンで色を足したりするなど、半年がかりで仕上げた作品もあるという。

緻密で心のこもった作品はさまざまなコンテストで評価され、この数年の間に、障害のある人たちによる芸術コンクール「関西電力コラボ・アート21」などで計6回受賞した。

耕作所では個展を記念し、宮本さんのドキュメンタリーを製作。個展を訪れた人たちはカフェの隣にある「山崎邸」の一室で見ることが出来る。友人と訪れた九度山町の主婦、諏訪仁美さん（51）は「古民家の落ち着いた雰囲気きれいな色が映え、見ていて癒やされます」と話していた。開館は午前11時～午後3時で入場無料。問い合わせは同耕作所（電）090・4271・0076。

手縫いおもちゃ力作500点 新居浜でロビー展

愛媛新聞 2015年06月24日

障害児が安心して遊べる玩具づくりなどに取り組んでいる愛媛県新居浜市のボランティアグループ「おもちゃ図書館きしゃポップ」(松山明子代表)の作品を紹介するロビー展が、同市一宮町1丁目の市役所で開かれている。26日まで。

同グループは1995年に設立し今年で結成20年。同市高木町の市総合福祉センターを拠点に、会員38人が手縫いのおもちゃの制作や、障害者との和太鼓演奏などの活動に取り組んでいる。

ロビー展会場には、綿を詰め込んだ柔らかい手触りのサッカーボールや、猫の愛らしい表情がプリントされたクッションなど20種約500点がずらり。

松山代表は「みんなでアイデアを出し合った作品ばかり。親子でじっくり遊んでほしい」と話している。

新作のおもちゃ約500点が並ぶ「おもちゃ図書館きしゃポップ」のロビー展



### 音楽療法とピアノ、親子向け演奏会 28日、炎の博記念堂で

佐賀新聞 2015年06月24日

音楽を使って障害を持つ子どもの療育に取り組む長田有子さんと、ピアニストの栗山みなみさんが出演する「親子のためのコンサート」が28日午後2時から、有田町黒川の=の博記念堂で開かれる。

長田さんは調布発達支援教室代表で、全国各地の障害児施設などで音楽療法を続けている。有田町出身の栗山さんは、鳥栖フッセル平和祈念大学・一般の部優秀賞など、数々の受賞歴がある。コンサートではシューマンやベートーベンの曲などを披露する。

チケットは親子(大人1人、小学生以下1人)2千円(当日2500円)、一般1800円(同2千円)、高校生以下500円(同700円)。問い合わせは=の博記念堂、電話0955(46)5010へ。

※=は品の口がそれぞれ火

### 日本医師会長 社会保障費抑制方針に懸念

NHKニュース 2015年6月24日

日本医師会の横倉会長は記者会見で、政府のいわゆる「骨太の方針」の素案に明記された方針に沿って、社会保障費の伸びを今後3年間で合わせて1兆5000億円程度に抑制すれば、「国民が求める必要な医療を提供できなくなるおそれがある」と述べ、懸念を示しました。

政府は財政健全化に向けて、いわゆる「骨太の方針」の素案に、社会保障費の伸びを今後3年間で合わせて1兆5000億円程度に抑えることを目指す方針を明記し、社会保障費の抑制に引き続き取り組む方針を打ち出しました。

これについて、日本医師会の横倉会長は記者会見で、「かつて小泉政権下で社会保障費が毎年2200億円機械的に削減され、医療崩壊へと導く深刻な影響をもたらした」と指摘しました。

そのうえで、横倉会長は「財政健全化を図ることは次世代への責任だが、医療費は高齢化以外にも医療技術の高度化などでも増加する。あらかじめ社会保障費の伸びを設定することは、国民が求める必要な医療を提供できなくなるおそれがある」と述べ、懸念を示しました。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行